

支部協だより

第141号

発行所
 NTT労組退職者の会
 沖縄県支部協議会
 沖縄県浦添市城間4-35-2
 TEL.098-870-7101
 FAX.098-875-7450
 責任者
 瀬良垣 武安

東村高江に行ってきました ……機動隊という“暴力集団”

副会長 長嶺 律雄

沖縄防衛局が、沖縄県東村・国頭村で、住民の反対を無視し、米軍のオスプレイ用の飛行訓練用ヘリパッド（離着陸帯）建設を強行しています。

東村高江の集落を取り囲むように、直径75メートルの巨大なヘリパッドが6か所造られようとしています。そのうちの2つは（N4か所）すでに出来てしまい、耐えがたい騒音をまき散らしてオスプレイが昼も夜も飛び続けています。子供の睡眠不足による不登校のため、耐え切れずに隣村に避難した住民もいます。今年7月になって東村に隣接する国頭村の4か所に新たなヘリパッドを造成するため、県民の民意が示された参議院選挙の翌日、

政府は全国から5000人もの機動隊を派遣し、座り込みの住民と支援者さらにテント小屋と支援物資・車を強制排除しました。

この結果、頸部を圧迫された女性、ろつ骨を折られた男性など、3人が救急搬送されました。また、沖縄防衛局は、県道70号線の歩道においてあった市民のテントや全国からの支援物資を持ち去りました。（県道は、沖縄県の管理下にあります。）

歩道の管理者でもない沖縄防衛局が、法的手続きを取らずに、即ち裁判所の撤去命令手続きも取らず、撤去命令も受けずに撤去することは、窃盗行為です。

N1地域での大阪派遣の機動隊員とのやり取りで

す。N1入口に「なにわ」のかまぼこ車が止めてあったので、大阪の隊員と推定しています。N1入口反対側の歩道には、機動隊員が数珠つなぎに並んでいます。記事にするために道路反対側にわたってその状況を写真に撮ろうと思いましたが。

私「反対側にわたって写真を撮りたいので、とうしてくれ」

若い隊員「危ないから、だめです」

私「見て分かるように車も通っていない。危ないという判断はなんに基いているのですか」

隊員「いや、危ないから駄目です」

と言って体を押し付ける。私「危ないというあなたの

一方的な判断を暴力的に私に押し付ける行為は“暴力団のやり方と全く同じだ”
 こんな暴力的な行為を押し付ける法的な根拠は、どの法律の何条にありますか」

隊員「ー」（たんまりです）。

例えば、暴力団員は、俺の顔を睨みつけたと言って、一方的に判断を押し付けて、暴力を振り、金を奪います。私には、機動隊員の行

為は、暴力団と重なります。写真は撮れませんでした。今、高江では、脱法行為と思われることが国家権力によって平気で行われています。悪法の予行練習ですかね。

米軍ジャングル訓練センターに全国から派遣された機動隊のかまぼこ車や隊員が駐留しています。

そう、沖縄を占領した米軍と一体となって見えます。この訓練センターから出てきて機動隊員は、配置につ

きます。まさに、米軍占領地駐留地からの出動です。一度、高江に来て、自分の目で見てください。県道70号線が渋滞するほど、たくさんのお民が遊びに来ることも大切なことです。ただし、高江は遠いので、交代できる運転手をつけた方が無難です。

（副会長・長嶺）



マスクして顔を隠している機動隊員N1ゲート前



N1ゲート前のアスロック従業員・奥は防衛省職員



ただ今現役

生き生き通信

なあ〜んにも、
しないのも
楽しからずや

みやぎ
宮城 いさお
功(七六歳)



かつて全電通首里(なつかしい言葉だ)という野球チーム(職域Cクラスで優勝の経験もある)に所属していた宮城功さん、最近では豊見城界隈を徘徊しているそう。琉球電電に入社したのは一九六七年と云うから「復帰」の五年前だ。

入社して配属されたのは那覇送受信所(FAXの送受信とは関係ありません、短波の送受信です、念の為)。那覇市首里鳥堀町(弁が岳の近く)にあり、現在跡地は駐車場になっている。

その後、首里マイクロや無線関係の職場を転々とし、六〇歳の退職時はNTTDコモだった。二年前までは趣味でギターを弾いていたが、現在はケースに入れて封印している。学生時代は信州にいたので時間さえあれば山に登っていて、転勤で県外にいた時も山歩きをしていたが、最近では足腰が弱くなってやめたそう。

今は豊見城の自宅で嫁さんと長男(三〇代)と三人暮らしで、毎朝周辺の高安

トゥンビー
おめでとう



仲田力夫

一九九三年定年し早二十三年が過ぎました。年も寄いしみて、八、九十もなとにくい戻ち見ぶしや昔の若さ、昔の電電時代吉嶺氏より指導を受け、海中写真撮影を四十年間続けており、二〇一二年十月、写真集(九十ページ)を出版。これを機に素潜りを止め、現在三原松竹会(老人会)の方々に民謡三線を指導し共に楽しんでいきます。又、当会の評議委員に任命され、月一回定例会を開催。

わじか此の世間や、一代世の暮らし浮世楽々と暮らちいかな

小波津正博

支部協の皆様、お心遣いありがとうございます。小生、心身とも頑健なれど、貧乏暇無く、コメントを差し上げる余裕がありません。悪しからず。次回の何らかの機会に。まずは、お礼まで。

山城美代子

70歳を過ぎてめつきり老花が進み、病院を何カ所か通い続けている現状です。唯一楽しみは週一ですが、近くの公民館でけいこ事をしていることです。

大浜哲夫

2012年1月脳出血、2015年7月脳梗塞、現在リハビリしながらデイケアへ通う日々です。毎月送って下さるお便りも読むことも出来ずすみません。こんな状態ですので、祝金をいただいても皆様方の力になれず申し訳ありません。

比嘉安雄

ハイサイ、ユンタンザの比嘉安雄です。チュウウウガナビラ、単純生活のせいか記憶力も薄れつつ73才を迎えた。退職後はゴルフ

(月6コンペ)やジョギング、友達との旅行を楽しみ、そして畑は草が生えると耕耘機で耕すだけで、手入れが悪いせいか作物はあまりできません。体をきたえ健康には気をつけていますが、70才を境に薬の種類が増えています。皆さんも気をつけて下さい。

上地国秀

健康法(ゴルフ及び菜園)今後の希望はとりあえず80才迄ゴルフが出来ること。

石橋みちひろ議員からの寄稿

NTT労組、組織内参議院議員の石橋みちひろです。7月10日に投票された第24回参議院選挙で、二期目の当選を果たさせていただきました。

大変厳しい闘いの中で議席を獲得できたのは、ひとえに全国各地で力強い応援をいただいた退職者の会の先輩方のおかげです。これからの6年間で、皆様のご期待にしっかりと応えして参ります。残念ながら、安倍政権の数の力は参議院でも一層強化されてしまい、私たちの国会活動はこれまで以上に厳しくなります。しかしだからこそ、ここ

らが私たちの本当の闘いであり、頑張りどころです。一期目以上に努力して国政に邁進して参りますので、引き続きの叱咤激励をどうかよろしく願います。



「議員の訃報について」
謹んでご報告し、故人のご冥福をお祈りします。

知花 懋(86歳) 国頭村在
平成27年2月死亡

砂川 宏(89歳) 豊見城市在
平成27年12月死亡

平田 勉(62歳) 久米島町在
平成27年12月死亡

岸本尚也(74歳) 浦添市在
平成28年3月死亡

川上雅雄(63歳) 北中城村在
平成28年1月死亡

浦原 節(78歳) 那覇市在
平成28年5月死亡

下地恵全(73歳) 宮古島市在
平成28年2月死亡

東上里康睦(80歳) 宜野湾市在
平成28年6月死亡

上原邦夫(67歳) 那覇市在
平成28年7月死亡